

区民企画講座

中央区民カレッジ生涯学習サポーター養成コースを修了したボランティアで構成される、「中央区生涯学習コーディネーターの会」による区民企画講座です。

この講座は、申し込み多数の場合、区内在住者が優先されます。

区民企画講座

定員 45名

◆知っているようで知らない「性の多様性の科学」

主題 近年、社会において性の多様性ということが言われるようになってきましたが、ヒトの性の多様性とはどういうことなのでしょう。LGBTQという言葉を見る機会も増えてきましたが、この言葉は何を意味するのでしょうか。

この講座では、ヒトの性について、生物学・医学の観点からの解説を行います。ひとくちにヒトの性といっても、いろいろなレベルの「性の要素」で成り立っています。それらの要素とは、「遺伝的性」、「生殖腺の性」、「生殖器官の性」、「脳の性」、「二次性徴の性」です。これらの性の要素の組み合わせの違いにより、性の多様性が生まれます。

ここでは特に、ヒトの性自認（自分を女性と思うか男性と思うか、という脳のしくみ）、性的指向（男性にひかれるか、女性にひかれるか、という脳のしくみ）をつくりだす「脳の性」について解説します。ヒトの性の正しい科学的理解をもとに、差別のない社会が生まれることを願ってこの講座を行います。

区民企画講座

時間：午後6時～8時

場所：本の森ちゅうおう

回数：1回

受講料：200円

回数	日程	講義内容	講師名
第1回	5/20(水)	「性の多様性の科学」について	小林 牧人

講師紹介

小林 牧人 (こばやし まきと)

東京大学農学部水産学科卒、同大学院修了・農学博士。カナダ・アルバータ大学動物学科研究員。東京大学農学部助手、助教授、国際基督教大学理学科、准教授、教授、特認教授を経て現在に至る。東京学芸大学研究員、早稲田大学法学部非常勤講師。専門は、動物生理学、動物行動学、環境科学。高校、大学ではアメリカンフットボール部所属。

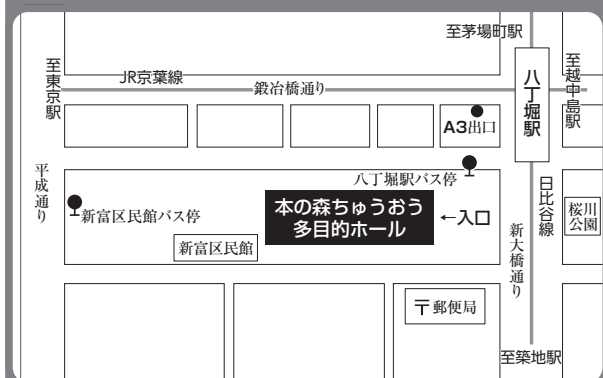
現在は、スポーツ活動から放出されるマイクロプラスチックとその対策の研究、日本の野生メダカの保全研究、ヒトの性についての科学的理解の啓発活動を行っている。

著書に『LGBTQ+ 性の多様性はなぜ生まれる？生物学的・医学的アプローチ』（恒星社厚生閣）がある。



小林 牧人 講師

会場図



中央区新富1丁目13-14